

## ブドウ短梢せん定に適した品種及びその管理方法

農業・園芸総合研究所

### 1 取り上げた理由

県内でブドウ栽培を行う場合、6月、7月のやませの影響による日照不足や冬季の気象条件などから安定生産には長梢せん定での管理が必要とされてきた。しかし、長梢せん定は技術習得が難しく、新たにブドウを栽培しようとする生産者の増加に大きな妨げとなっている。そのため、作業が容易になる短梢せん定について、県内の気候条件下での可否を検討したところ3品種について可能と考えられたので、普及技術とする。

### 2 普及技術

1) 県内で短梢せん定が可能な品種は「シャインマスカット」、「オリエンタルスター」、「巨峰」である(表1, 2)。短梢せん定の収量は長梢せん定よりもやや少なくなるが、せん定作業時間が半減し、作業範囲も明確になる(表3, 図1, 2, 3)。

#### 2) 短梢せん定の方法

- a 冬季せん定時に結果母枝を基底芽を除いて基部から2芽残しせん除する(図4)。
- b 結果母枝の配置は主枝1m当たり10本(片側5本)程度とする(図5, 6)。



図1 短梢せん定後の樹姿



図2 長梢せん定後の樹姿



図3 短梢せん定管理樹の着房状況

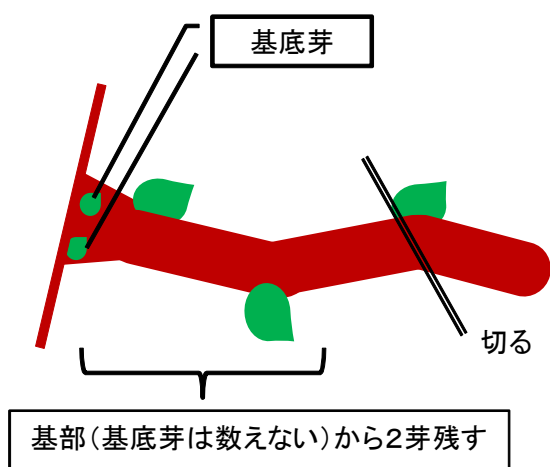


図4 結果母枝のせん除方法

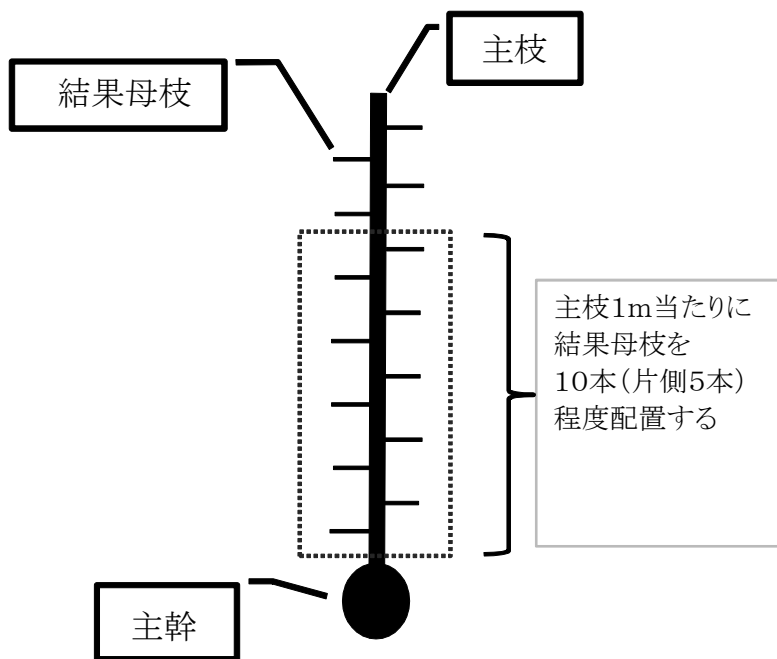


図5 結果母枝の配置(上からみたところ)

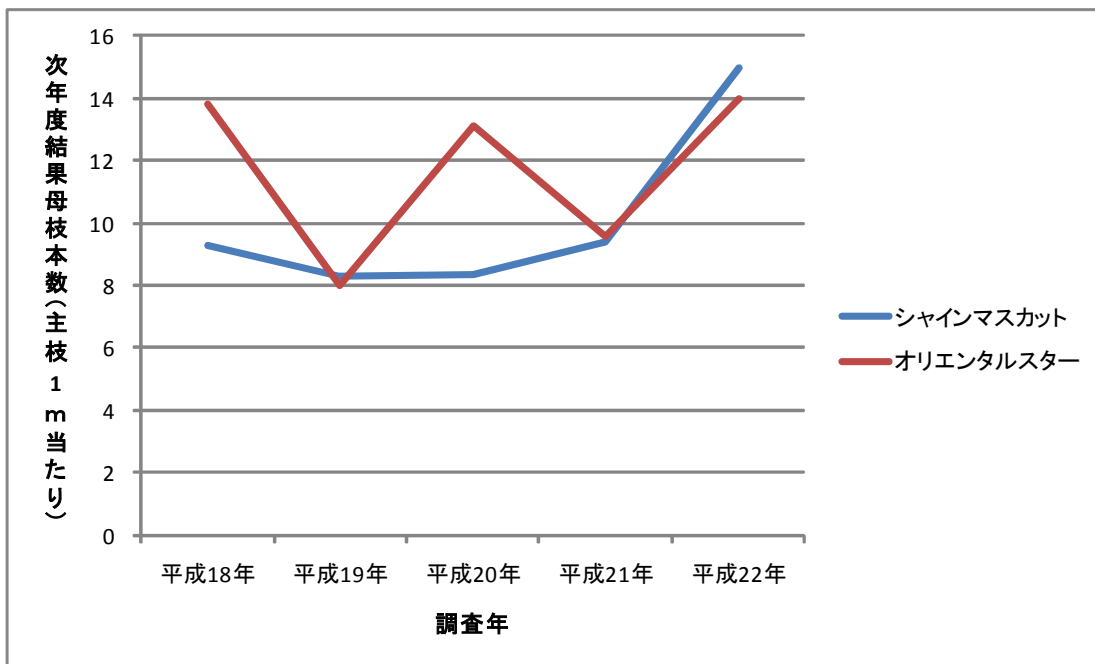


図6 主枝1m当たりの結果母枝数の年次推移

### 3) 栽培管理等

- a ジベレリン処理による無核栽培とする（表4）。
- b 新梢（結果枝）を8月上旬に200cmの長さで一律摘心する（表5）。

## 3 利活用の留意点

- 1) 雨よけ栽培を基本とする。
- 2) 短梢せん定管理園は、植栽間隔について列間4mを基本とする。
- 3) ブドウ栽培では花穂整形、房数の制限、摘粒等の基本作業があり、これらを怠ると果実品質および樹勢低下に直結するため、初心者が取り組む場合は最寄りの農業改良普及センターと相談すること。
- 4) ジベレリン処理は剤の使用方法を遵守して行うこと。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所 電話022-383-8132）

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

ナシ、ブドウの整枝・せん定法改善による花芽着生安定化技術 平成18年～22年

##### 2) 参考データ

表1 せん定方法の違いが果実品質におよぼす影響(平成20年)

品種名	処理	平均果房重 (g)	果房長 (cm)	1房当たり 平均粒数	平均粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)
シャインマスカット	短梢	377.3	15.9	37.9	9.6	19.0	0.30
	長梢	596.5	17.0	47.2	12.3	18.2	0.23
オリエンタルスター	短梢	398.7	14.3	47.4	8.2	19.0	0.39
	長梢	416.8	14.8	48.4	8.4	17.0	0.43
巨峰	短梢	331.3	15.3	32.2	10.0	17.0	0.73
	長梢	347.7	15.2	35.1	9.6	17.5	0.71

表2 せん定方法の違いによる樹冠および収量の差(平成21年～22年)

品種	処理	樹冠 (m <sup>2</sup> /樹)	収量 (kg/樹)	植栽可能本数 <sup>y</sup> (本/10a)	10a当たりの予 測収量(kg) <sup>x</sup>
		最終年度 <sup>z</sup>	最終年度 <sup>z</sup>		
シャインマスカット	短梢	96	87.4	10	910
	長梢	243	251.3	4	1034
巨峰	短梢	56	51.2	18	914
	長梢	112	126.4	9	1129

z: 最終年度は巨峰が平成21年, その他の品種は平成22年

y: 1000m<sup>2</sup>/最終年度の樹冠で計算

x: 植栽可能本数に最終年度の収量を乗じて計算

表3 せん定方法の違いがせん定作業時間に及ぼす影響(平成22年)

品種名	処理区	植栽本数 (10a当たり)	10aあたりのせん定 作業時間(時間) <sup>z</sup>
オリエンタルスター	短梢せん定	15	12.3
	長梢せん定	9	23.2

z: 1樹のせん定作業時間を実測し, それを植栽本数に乗じたもの

表4 無核化処理が短梢せん定導入樹の果実品質に及ぼす影響(平成19年)

品種	処理	調査果房重 (g)	果房長 (cm)	粒数 (粒/房)	平均粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	含核数 (個/10果)
シャインマスカット	無核	323	14.5	44	7.3	19.0	0.19	1
	有核	223	11.1	34	6.5	17.4	0.26	13
オリエンタルスター	無核	438	15.7	51	8.7	20.4	0.30	2
	有核	246	13.7	32	7.6	19.8	0.38	16

表5 摘芯の長さが果実品質に及ぼす影響(平成21年)

品種名	処理	調査果房重 (g)	果房長 (cm)	1房当たり 平均粒数	1粒重平均 (g)	糖度 (%)	酒石酸 (g/100ml)
オリエンタルスター	100cm摘心	357.6	13.8	38	9.1	19.0	0.38
	150cm摘心	320.4	12.5	37	8.5	20.8	0.39
	200cm摘心	369.9	14.8	34	10.6	21.0	0.38

##### 3) 発表論文等

###### a 関連する普及に移す技術

a) 普及情報(平成21年 85号)

##### 4) 共同研究機関

なし